

青森市立西中学校校舎等改築事業【計画段階】

(1) 事業概要

<計画施設について>

既存の青森市立西中学校は、校舎が昭和44～51年度に、屋内運動場が昭和47年度に建設されたものである。耐震補強によって耐震性に問題はないものの、校舎及び屋内運動場ともに老朽化が著しいため、建替を行うものである。

<整備方針>

通学する生徒及び教職員や施設を利用する市民が、安全で安心な環境とするために改築工事を実施することとし、これまでの市内の小・中学校の整備実績を参考に進める。

<計画建物の概要（構造・規模）>

西中学校は、公立学校建物の校舎等の基準により計画し、下表の規模を想定している。規模は、文部科学省の基準により、クラス数で標準面積が決まり、校舎は、それに特別支援学級と多目的スペースの分を加算した面積となっている。屋内運動場は、防災倉庫の機能を含む面積となっている。

	既存		⇒	計画	
	構造・階数	規模 (㎡)		構造・階数	規模 (㎡)
校舎	鉄筋コンクリート造3階建	5,691		鉄筋コンクリート造3~4階建	7,877
屋内運動場	鉄骨造2階建	1,350		鉄筋コンクリート造2階建	1,511

<整備スケジュール>

今年度は、校舎及び屋内運動場の改築基本設計を行い、平成30年度に校舎改築工事の実施設計、平成31、32年度の2カ年で校舎の改築工事を実施する予定である。平成33年度以降のスケジュールは、以下の予定である。

- 平成33年度…既存校舎解体工事
- 平成34年度…屋内運動場改築工事（1年目）
- 平成35年度…屋内運動場改築工事（2年目）
- 既存屋内運動場解体工事
- 平成36年度…屋外教育環境整備工事

(2) 景観計画

<計画地周辺の状況>

計画地は青森中心部から南におよそ3.5kmの位置にあり、周辺には泉川小学校や浪館小学校、金沢小学校や青森南高等学校が点在しており、学校施設が多い住宅地区となっている。

<青森市景観計画で定める景観方針（計画地がどのような位置付けか）>

市街地景観地域（住宅地域）になっており、身近な公園や緑地での植栽活動や敷地内緑化による緑花空間を形成し、街並みと調和のとれた「潤い・ゆとり」のある快適で心豊かな景観の形成に努める。

<今後計画を進める上で景観に関して配慮すること>

上記の景観方針に加え、周辺の景観との調和に配慮する。

(3) 位置図



(4) 敷地概要

<地名地番>

青森市大字浪館字志田36番地、7番地

<敷地面積>

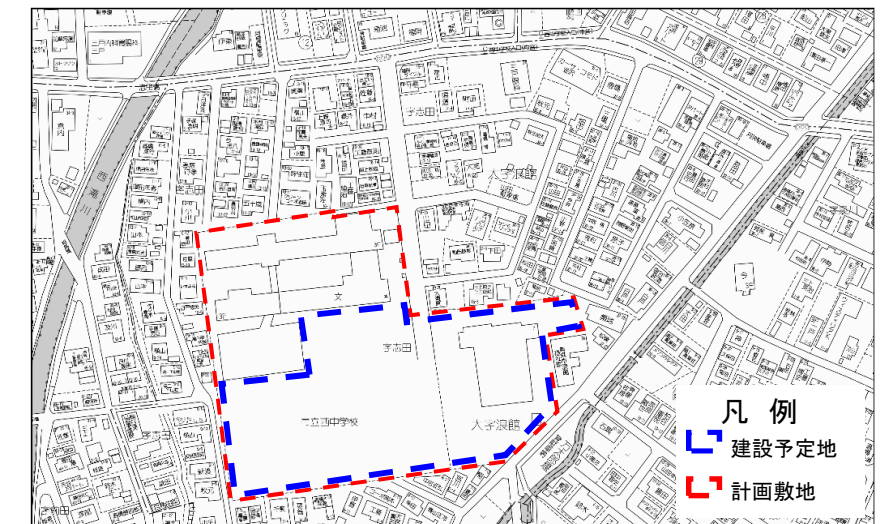
24,334㎡

<用途・防火地域等>

都市計画区域内
（市街化区域）
第一種低層住居専用地域
防火地域指定なし

<建ぺい率・容積率>

50%・80%



③から撮影した写真



②から撮影した写真



①から撮影した写真



⑫から撮影した写真



④から撮影した写真



⑪から撮影した写真



⑤から撮影した写真



⑩から撮影した写真



⑥から撮影した写真



⑦から撮影した写真



⑧から撮影した写真



⑨から撮影した写真

